

ステージ I 通信

令和5年11月15日

ステージIスローガン
元気 もりもり

勉強 ばりばり

やさしさ ぽかぽか



文化発表会 頑張りました

10月27日（金）の文化発表会では、たくさんの方にご参観いただきありがとうございました。ステージIの国語の学習発表と合奏は楽しんでいただけたでしょうか。子どもたちも1か月半近くかけて練習してきた成果を見ていただくことができ喜んでいました。私達も子ども達の元気な発表、一生懸命に頑張る姿に感動しました。

文化発表会が終わって、「先生、何点だった。200点とれた。」と嬉しそうに話してくる子ども達がありました。緊張しながらも、持っている力を精一杯出すことができ、子どもたちは、頑張って発表できたことに満足していたようでした。

また、今回の発表を4年生がステージIの代表として、11月19日（日）に南波多コミュニティセンターで行われる「フルーツの里南波多ふれあいまつり」で披露します。

4年生の発表は10:50からの予定です。都合がつかれましたら、見に行かれています。



勉強がんばり週間

11月16日から1週間、南波多郷学館家庭学習週間です。そこで、ステージIでは11月16日（木）から22日（水）まで「勉強がんばり週間」の取り組みをします。勉強がんばり週間は、「家に帰ったらすぐに宿題に取り組む」「ながら学習をしない」「ゲームよりも読書」といった小学生ならあたり前のことを再確認することが大きな目的です。○（できた）△（できなかった）の評価をするだけでなく、この1週間、○が付くように頑張ったり我慢したりして、取り組ませてください。そして、毎日確認をしていただく際に、お子さんの頑張りを誉めてからサインしていただくと意欲が高まると思います。

家庭と学校が連携協力して、子どもたちの学習意欲を高め、家庭学習の習慣化を目指して取り組みます。

ご協力よろしくお願いたします。



(1~4年生用) 学年×10+20分

年

番

名前

すすんでできた◎, できた○, できなかった△	れい	11/16 木	11/17 金	11/18 土	11/19 日	11/20 月	11/21 火	11/22 水	ごうけい
①決めた時刻には勉強を始める。	4時	時	時	時	時	時	時	時	
②テレビをけして勉強する。	○								
③机の上は勉強道具だけにする。	○								
④学年の決まった時間(分), 勉強する。	○								
⑤読書を15分以上する。	○								
⑥テレビやゲーム(スマホ, タブレット)などは60分まで。	○								
⑦決めた時刻には寝る。…基本は9時(おそくても10時)	9時	時	時	時	時	時	時	時	
ごうけいてんすう	7								
おうちの人サイン	南								

児童クラブで、宿題が終わる子もいると思いますが、家庭でも短時間でもいいので勉強する時間が作られるといいですね。

学年×10+20分をめやすにしてください。宿題がはやく終わったら自主学習で調整をして、決まった時間学習しましょう。

毎日ご確認いただいて、サインをお願いします。そして、毎日学校に持たせてください。

提出できたら+1点
めざせ! 50てん!

★ おうちの人とそうだんして、まいにち正しくつけましょう。

★ ◎と○は1てん、△は0てんです。まいにち、ごうけいてんすうをだててみましょう。おうちの人からのサインもまいにちかならずもらいましょう。

ゲームマナー宣言: ●週に()日 ●ゲームをする場所は()

お家の人と話し合って決めましょう! ●1週間のゲームトータル時間は()時間まで

ゲームをする日数, 時間, 場所を相談して決めてください。
すでにご家庭で決められているルールでよいと思います。

習い事など家での生活事情で、勉強を始める時刻や寝る時刻が変わってくると思います。そこで、曜日ごとに自分の生活に合った「①勉強を始める時刻」や「⑦寝る時刻」を決めてください。

「⑦寝る時刻」については、基本は『9時までに寝る』としています。

習い事等でおそくなる日は、おそくても10時までには寝るようにしましょう。

勉強がんばり週間が終わりましたら、「べんきょうがんばり週間ふりかえり」の「家の人から」の欄に、ご家庭で取り組まれたことやお子さんのがんばりの様子などをお知らせください。(サインだけでも結構です。)よろしくお願ひします。

家庭学習は、学力向上の大きな要因となります。学校では、毎日「学年×10+20分」の家庭学習に取り組むように声をかけています。宿題がある日はもちろん、宿題が終わった土曜日や日曜日、ぜひ、自主学習やドリル問題に取り組む時間をつくってほしいと思います。はじめは長く感じるかもしれませんが、慣れてくると案外気にならなくなるものです。どうか、頑張っている子どもたちに温かい声かけをしたり、子どもと一緒に調べものや読書をしたりする時間をつくったりして、子どもの家庭学習の定着をサポートしていただけたらと思います。